

# 神奈川県支部だより

平成26年3月22日発行

神奈川県支部長・本部事務局長挨拶

父母教と神奈川県支部の

活動について

神奈川県支部長 森 弘幸



会員の皆様、いつも父母と教職員の会の活動にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

文教大学父母と教職員の会は、「会員が緊密に連絡・協力することによって、文教大学の教育に対する理解を深め、その発展・向上に寄与すること」を目的として、昭和五十一年に創立されました。今年で三十八年目を迎える全国組織の会です。現在、全国に四十四支部が活動しています。その中で神奈川県支部は、在籍数千四百四十二名と全国二番目の規模を誇ります。

神奈川県支部では、七月に支部総会・研修会、九月に講演会、十月に聳塔祭（湘南校舎）・散策など、会員の皆様と教職員に支えられて開催してきました。

しかしながら、会員の皆様との情報交換の機会は決して多くはありません。本誌「神奈川県支部だより」をご覧いただき、大学との距離を少しでも縮めていただければ幸いです。

今後とも会員の皆様と共に、支部活動を充実したものにしていきたいと思いますので、ご意見、ご感想、ご要望など何なりとお寄せください。

父母と教職員の会について

本部事務局長 恵羅 博



本会のことを外部の方にお話しすると、「大学にもPTAがあるんですか」という感想もつかぬ反応を頂くことが、以前には多

かったですが、最近では、他大学でも類似の組織がめずらしくなくなったようです。

三十八年前に発足した本会は、まさに時代に先行した画期的な組織でありました。現在の初中等教育の場におけるPTAと異なる点は、第一に、本学教職員を含めた会員の皆様のボランティア精神がより強くほぼ完全に自主運営されていることです。これは、他大学の類似組織に比べても、本会の大きな特徴の一つと考えています。

第二には、全国に四十四支部を置く規模の大きさです。全国から学生が集まってくる大学ならではの事です。

これらの特徴のおかげで、学生支援や保護者の学習機会提供、交流会等、多様性のある活動が可能になっています。この掛けがえのない組織を、将来とも大事にし、発展させていきたいと切に願っております。

特に一都三県の支部の皆様には、会運営の大きな推進力となつていただき、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

情報学部 情報システム学科 教授

湘南  
キャンパス



越谷  
キャンパス



第29回

# しょう とう さい 聳塔祭

29th SHOTO FESTIVAL  
2013.10.26(sat), 27(sun)



神奈川県支部のメンバー



**オリジナル焼き印の「どら焼き」**  
神奈川県支部は今年も、茅ヶ崎に本店を置く和菓子店「富士美」さんに協力していただき学園のロゴを焼き付けた「どら焼き」を販売いたしました。上品なきめの細かいプレーン味でお楽しみいただきました。



文教大学  
シンボルマークを  
焼き印に！



第29回聳塔祭のテーマは「ココロ、ハネル、その瞬間。」です。

今年から2日間開催になった聳塔祭。365日のうち、この聳塔祭がある2日間というのはほんの一瞬の出来事ではありません。しかし、その一瞬に、もしくはその一瞬のための過程のうちに、参加団体の皆さんと私たち実行委員会、そして来場者一人ひとりに「ココロ、ハネル、その瞬間。」が訪れてほしいという願いが込められています。

## ココロ、ハネル、その瞬間。 29th SHOTO FESTIVAL



### 実行委員長挨拶

聳塔祭実行委員長  
石川 真世

3つの台風歓迎されながらも10月26・27日に開催された第29回聳塔祭でしたが、沢山の方々の協力のおかげで無事に開催することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

第29回聳塔祭は文教大学を地域の方々により知って頂ける「きっかけ」となるよう、学術的な面に力を入れたり、地域行事のボランティアスタッフをしたり、情宣方法を工夫したりなど、委員それぞれがそれぞれのできる限りの努力と工夫、改善をして参りました。その結果、昨年度よりも沢山の方々が聳塔祭へご来場くださったので運営側としても嬉しい限りです。

さて、来年度の聳塔祭は第30回という節目を迎えます。変革の機ともなるでしょう。ですが、これまでと変わらないことも沢山あります。どちらの面も大切にしつつ、聳塔祭の今後の更なる活躍を願っています。

# ハイパーレスキュー語る!!

文教大学父母と教職員の会主催特別講演  
『3.11 災害から学ぶもの』

2013  
9.22



東日本大震災発生で福島第一原子力発電所にハイパーレスキュー隊統括隊長として活動した高山幸夫さんを講師に迎え、事故の炉心冷却ミッション現場での体験をもとに危機管理のあり方と命の大切さ、引く勇気、リーダーとしての役割についてお話を伺いました。「家族の安否もわからないのに決死の覚悟で働いている人々を見たときに、当たり前前の生活がなんと幸せか、恵まれているのだから頑張ろうと思った。」

改めてわが身を振り返る良い機会をいただくことができました。



～秋の散策～

2013  
11.16

## 防災体験ツアー

東京臨海  
広域防災公園  
そなエリア東京



お台場にあるこの施設、首都直下地震等の際には、災害現地対策本部がおかれます。平常時は公園、多目的広場、体験学習施設などを備えています。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/showa/tokyorinkai/index.htm>

TVで見たことがあるような対策本部の大会議室や防災グッズなどを見て回り、さあ、DSを持って72時間生き残れるかの体験ツアーの始まりです!



まずはガイドの元気なお姉さんからDSの使い方と諸注意のレクチャー



使い慣れないゲーム機に真剣なメンバー?!

エレベーターで移動中大地震発生! 緊急停止!! 降りたところは真っ暗(\*\_\*); メンバーは無事生還できるのか?!

街ではビルが倒壊 Σ(°д°) 電柱は傾き、窓ガラスは粉々... 街灯や信号機は消え 暗闇の街並み 街頭テレビでは緊急放送を繰り返し流すアナウンサーの姿が(((; ㊦)))



みごと脱出に成功! ガイドさんにまた会えて良かった♡



身を守るにはどうすれば良いのか!? ガスの復旧の仕方などのクイズに答えながら進んでいくと...



何とも言えない緊張感と恐怖感

サバイバルの後、お楽しみのお台場のホテルでイタリアンビュッフェ

レストランの前で記念撮影



## しながわ水族館



午後は癒しのひととき



**年間活動** (平成25年4月～平成26年3月)

6月2日(日)

父母のための二日大学(本部活動)

(湘南キャンパス)

(越谷キャンパス)

7月20日(土)

神奈川県支部総会

(湘南キャンパス)

9月22日(日)

特別講演「3・11災害から学ぶもの」

(湘南キャンパス)

10月12日(土)・13日(日)

一都六県支部役員合同研修会

(箱根)

10月26日(土)・27日(日)

聳塔祭

(湘南キャンパス)

11月16日(土)

秋の散策

(東京臨海広域防災公園としながわ水族館)

11月24日(日)

「親と子のための進路問題研修会」

(越谷キャンパス)

12月1日(日)

「親と子のための進路問題研修会」

(湘南キャンパス)

平成26年3月22日(土)

神奈川県支部だより第3号発行

**文教大学父母と教職員の会 神奈川県支部 平成24年度決算及び平成25年度予算**

**【収入の部】**

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差 額	備 考	平成25年度予算額
前年度繰越金	685,972	685,972	0		677,396
支部交付金	1,288,800	1,373,400	84,600	1,800×763名	1,458,000
臨時会費	80,000	110,500	30,500	会員の事業参加費 (歓迎会、賀詞交歓会、散策等)	80,000
事業収入	20,000	26,540	6,540	聳塔祭模擬店売上他	20,000
雑収入	100	186	86	銀行利息	100
合計 (A)	2,074,872	2,196,598	121,726		2,235,496

**【支出の部】**

科目	予算額	決算額	差 額	備 考	平成25年度予算額
事業費	(1,570,000)	(1,400,974)			(1,620,000)
総会費	270,000	194,578	△ 75,422	総会運営費	350,000
進路問題研修会	450,000	395,444	△ 54,556	研修会(湘南校舎)運営費	200,000
支部会報誌作成	450,000	436,024	△ 13,976	支部会報	500,000
その他事業費	400,000	374,928	△ 25,072	一都六県研修/聳塔祭模擬店/散策/研修会/その他	570,000
会議費	200,000	61,603	△ 138,397	役員会	200,000
事務通信費	80,000	5,880	△ 74,120	案内状ハガキ代/切手代	80,000
印刷費	100,000	49,905	△ 50,095	資料等の印刷/角封筒印刷代	100,000
雑費	10,000	840	△ 9,160	振込手数料他	10,000
予備費	114,872	0	△ 114,872		225,496
合計 (B)	2,074,872	1,519,202	△ 555,670		2,235,496
次年度繰越金 (A - B)		677,396			
合計		2,196,598			

**会計監査報告**

以上の通り、監査の結果相違ないことを認めます。

平成25年4月20日

会計監査 野本 雅起

会計監査 中山志麻子

# 一都六県支部役員合同研修会

平成25年10月12日・13日

## 研修会に初参加して

神奈川県支部 那須 良明

東京・神奈川県・埼玉・千葉・茨城・群馬・栃木の各支部役員が年一回情報交換、親睦の場としての「一都六県支部役員合同研修会」に初めて参加しました。

研修会には、渡辺理事長をはじめ、大学事務局5名、各支部役員49名の総勢55名が参加しました。今年の会場は箱根のウイスタリアンライフクラブ「ベル

アの森」で各自到着後、講師に文教大理事長の渡辺孝先生をお迎えし「日本経済の現状と課題～アベノミクスのその後～」の演題で講演していただきました。

内容は、戦後日本経済の歩み・日本のデフレ問題・アベノミクス「三本の矢」・日銀の



金融政策・危機的状況にある我が国の財政・急速に進む少子高齢化等で、シンプルで明確な様々なデータや図表のレジュメを用い、非常に分かり易く解説していただき有意義な講演でした。先進国でも類を見ない巨額の赤字（借金）や膨張を続ける社会保障費、生産年齢人口減少等経済停滞からの脱却は仲々困難とのことでしたが、オリンピック開催決定をひとつの契機として日本の底力での再生を期待したいです。

研修会終了後は入浴と夕食。食事会場は照明が落とされていてお洒落な雰囲気の中で乾杯し、食事はバイキング形式で味・質・量ともに大満足でした。

二次会はカラオケ大会で、埼玉・千葉両支部のセミプロ級の方々に圧倒されました。その後、懇親会で深夜まで各支部の方々等と語り合い、特に子供の大学生活、就職活動等の話は大変参考になり、又、層親睦が深まりました。

翌日は朝食後、瀟洒なホテルの玄関前で記念撮影を終え「箱根ガラスの森美術館」に向かい、各自散策や体験工房でオリジナルのペンダントやキーホルダー作り、ガラスに好みの模様や文字を彫りマイグラス作りを体験しました。ランチはイタリア人の専属歌手によるカンツォーネを聴きながらいただき、ローマカナポリにいるような本場イタリアの雰囲気になりました。

最後に小田原の「鈴廣」に立ち寄り、かまぼこ干物をお土産に帰路に着きました。当初想像した以上に成果のあった研修会で、参加して本当に良かったと思えました。

今回講演して頂いた渡辺先生、幹事の東京支部の皆様大変有難う御座いました。

# 親と子のための進路問題研修会

平成25年12月1日

湘南キャンパスにて進路問題研修会が開催されました。

毎回とても好評で今年もぜひという声におこたえて、(株)ペイジメーカー代表 高島博志氏に講師を依頼し、

第1部 親が出来る「就活」アドバイスの情報・20年前とは異なる現在の就職活動の動き

第2部 就活を成功させる為に私が学生に訴求している事

第3部 適正テストのベストセラー「SPIテスト」とは何か？

の内容で講演をいただきました。



平成二十五年度  
文教大生父母と教職員向け  
親と子の進路問題研修会  
於 101教室



今年も内定をいただいた3人の学生さんに体験談を語ってもらいました

# 文教生の活躍

〔湘南校舎〕

情報学部が

神奈川産学チャレンジプログラムで表彰されました

表彰されました

社団法人神奈川経済同友会が主催する「第10回神奈川産学チャレンジプログラム」の表彰式が2013年12月19日にパシフィコ横浜会議センターで開催され、根本俊男ゼミナール所属の情報学部3年中根大貴さん、2年塚田悠太さんのチームが最優秀賞を獲得、井徳正吾ゼミナール所属の情報学部4年杉本美咲さん、小嶋美保さん、有賀陽平さん、菅野早希子さんのチーム、同じく井徳ゼミナール所属の情報学部4年藤野瑞貴さん、小泉あづささん、石川麻美さんのチームがそれぞれ優秀賞を獲得しました。今年度は、神奈川県下の大学から229チーム（本学からは15チームがエントリー）の応募があり、最優秀賞16チーム、優秀賞44チームが入賞しました。このプログラムは、社団法人神奈川経済同友会と会員企業、神奈川県内の大学が連携した課題解決型研究コンペで、会員企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを提示し、これに対し解決策を学生がレポートにまとめ、企業による審査を経て、優秀なレポートを提出した学生に対し賞の授与がされるものです。



最優秀賞

〔参加メンバーの感想〕  
中根

「このようならばうれしい賞をいただけて光栄です。今後とも人々を笑顔にさせられるような研究をしたいと思います。」

塚田

「成果を上げることが出来たのでとてもうれいです。今回のブレゼンテーションや、レポート作成など経験を活かして今後の生活でも様々なことにチャレンジしていきたいです。」

情報学部経営情報学科3年中根大貴（根本ゼミ所属）  
情報学部経営情報学科2年塚田悠太（根本ゼミ所属）  
テマ・セメント輸送における車両の運行効率向上に繋がる施策の提案  
企業・株式会社三好商会

# 文教大学 湘南キャンパスMAP



## 湘南図書館

### 開館時間

#### 授業・試験時間中

平日 9:10~20:00  
土曜 9:10~16:00

#### 上記以外の期間

平日 9:10~17:00  
土曜 9:10~12:00

### 休館日

日曜日・国民の祝日  
本学創立記念日(10月17日)  
春・夏・冬季休業中の一定期間  
その他図書館で必要と認めた場合

※開館日・時間の変更はその都度お知らせします

### 使用人数

年間延べ10万人弱に利用されています



企画コーナー  
(学生が薦める本)  
教員推薦コーナーが  
設けてあります

## 学生生活に役立つ 相談窓口

### 相談室

カウンセラーと一緒に考えてくれます

#### 開館時間

9:30~16:30 (昼休み 11:30~12:30)

### 学生支援室

H24.10 新たに設置

学生生活で困った時、履修、就職、授業、友人関係など、どんなことでも聴いてくれます

#### 開館時間

9:10~16:40

保護者の方も  
ご利用になれます



父母教のホームページもぜひご覧ください!

URL: <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/>

e-mail: [fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp](mailto:fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp)

文教大学 父母と教職員の会

検索

## 編集後記

「神奈川県支部だより」第3号は  
いかがでしたでしょうか?  
会員の皆様方に、父母教での活  
動内容をお伝えできるよう試行錯  
誤しながら、役員一同協力し知恵  
を出し合いました。  
今後共父母教の活動をご理解頂  
き、行事に興味を持っていただ  
ければ幸いです。ご意見、ご感想を  
お寄せください。

父母と教職員の会は、学生ひとり  
ひとりが充実した大学生活を送り、  
その進路をよりよく開いていける  
ように、保護者相互、保護者と教職  
員とのよりよい関係づくり、学生の  
学業、部活動や就職対策などへの人  
的・金銭的援助活動を行っています。  
進路に関する研修会を開催する  
他、会員皆様方と交流を深める為  
の行事を行っています。  
なお、本会は大学と緊密に連携を  
とりながらも大学とは違う視点  
を持ち続けるために、自立した組織  
として保護者と教職員の会費で支  
えられていますので、会費の納入に  
ご理解とご協力をお願い致します。

発行日 平成26年3月22日

発行 文教大学 父母と教職員の会  
神奈川県支部 支部長 森 弘幸